

清友

No. 20

2011年4月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

仙台市へ3週間 災害廃棄物処理応援

3月11日に発生した東日本大震災は、死者・行方不明者が3万人を超えると思われるなど、東北・北関東の太平洋側を中心に未曾有の大災害をもたらしました。被災地のライフラインは依然十分には回復しておらず、大きな余震が続く中、復旧の目処も立っていません。清掃退職者会の会員も被災された方や体調を崩した方、親類・友人知人を喪った方もいると聞いています。被災されたみなさんの生活の安定と被災地域の一日も早い復興を切に願うものです。

東京清掃は震災支援対策本部を設置

東京清掃は、西川委員長を本部長とする震災支援対策本部を設置し、清掃労働者としてできることを取り組むことにしています。

国からの支援要請を受けて東京都と23区の支援協議会が設置され、支援へ向けた行政側の動きも始まりました。

3月29日～30日には、東京清掃震災対策本部が応援先予定地の仙台市を訪れ、現地の状況把握を行うとともに市職労の仲間を激励しました。

応援先の仙台市は、浸水した家屋も多く、集積所や仮集

積所の公園等に粗大やがれきも山積みされている状態です。派遣期間は4月17日から5月7日までの3週間（週単位で交替）、派遣車両は各期20台（雇上含む）で設定されました。

自治労は全国からの復興支援を組織

一方、自治労は90年の雲仙普賢岳噴火災害以降、復興支援ボランティアを組織しており、今回も4月10日から6月5日までの8週間の予定で全国から毎週二七五人延べ二二〇〇

人を派遣することにしました。東京清掃も毎週2人派遣す



仙台市の被災状況（東京清掃現地調査団撮影）

現役の取組みに私たちも注目したいと思います。

る予定です。東京の支援先は福島県相馬市と新地町で、支援業務は行政支援、医療支援（保険師・看護師）、避難所運営・物資仕分け等です。

私たちも、被災した方々のために、できることを一つひとつ積み重ねたいと思います。

第7回幹事会

**総会は予定通り18日
東日本大震災救援緊急
カンパにご協力を
メンバーは独自隊列で**

4月1日に第7回幹事会を開催し、第4回定期総会を予定通り18日に開催すること、総会議案、メンバーの取組み、東日本大震災救援カンパ、臨時・非常勤職員の処遇改善署名の取組み等を確認しました。

第4回定期総会

3月11日に発生した東日本大震災による影響と甚大な被害を考慮し、3月28日に予定していた「お花見ウオーキング」、東京清掃ボウリング大会をはじめ数多くの行事が中止

になりましたが、やるべきことはきちんとしておこうと考え、定期総会と懇親会は予定通り18日に開催します。総会議案のうち活動方針案と予算案は3面に掲載しましたので、検討してください。

第4回定期総会

〈日時〉 4月18日(月)
午前10時開会
〈場所〉 SKホール
(清掃会館地下)
〈議案〉 ①活動方針(案)
②会計予算(案)
③規約改正(案)

懇親会

〈日時〉 4月18日(月)
12時30分
(総会終了後)
〈場所〉 SKホール

会員名簿に電話番号を載せるべきか

会員より会員名簿を配布してほしいという要望がありました。

三役会で検討し、会員相互の親睦を深めるため、会員名簿を作成し配布することにしました。

ただし、昨今のプライバシー問題に対する動向や電話番号を把握できていない会員もいることを踏まえ、名簿には電話番号を掲載しない方向を考えていました。

1日の幹事会で、三役会の中間的検討状況を報告したところ、幹事より「電話番号が載っていない会員名簿は無意味」「例え全員分の電話番号を把握できなくても載せるべき」との意見があり、三役会として引き取ることになりました。

この件については、改めて18日の総会の中で議論したいと考えています。みなさんのご意見をお聞かせください。

メンバーの取組み

4月29日の中央メンバーは、東日本大震災の状況等を踏まえて、東京地公労の事前集会・デモは中止になりました。清掃退は幹事中心に2名程度の代表参加で対応します。

5月1日の日比谷メンバーは例年同様、清掃退の隊列を組みます。総会の日に参加者を最終確認します。是非ふるって参加ください。

清掃退学習会

6月中旬か7月上旬を目処に清掃退職者会学習会を開催します。

テーマは「税制・医療制度等に対する地公退の取組み」。

講師は川端地公退事務局長を予定しています。日程が確定し次第お知らせします。

東日本大震災被災者救援カンパ

自治退は、各単会に対し東日本大震災の被災者救援カンパを行い、各自治労単組へ集約するよう指示しました。

東京清掃のカンパ活動は既に第1次集約を過ぎていることから、清掃退は次により取り組みを行うことにしました。よろしくお願いいたします。

①総会の日に総会参加者からカンパを寄せていただく。

②総会不参加の方は地元等で積極的にカンパしていただく。

東京清掃退職者会第4回総会議案

2011年度活動方針(案)

(はじめに)

わが退職者会は、再結成され三年をむかえ、その間「旅行会」をはじめ「ハイキング」と「学習会」、「各他退職会との交流会」等の活動をしてきました。

そして、会員同志の親睦と交流を進めながら活動内容を機関紙「清友」に掲載し、本部を通じて各支部へ届け読んでもらう事により、退職者会の存在が浸透しつつあり、さらに「現・退」一致しての活動を継続して行く事が会員拡大に必要です。

私たち高齢者をとりまく情勢はきびしい課題が山積されています。政権交代したが参議院選の敗退でネジレ国会となり、高齢者医療制度についても新制度の法制化は厳しい状況になっています、医療費の財源は事業主の負担を含む保険料と税との適切な組み合わせ、高齢者が安心して医療をうけられる制度にしていけるべきです。

年金制度は、今年度0.4%減額されました。物価スライドを組み込んだ制度であるとはいえ、所得税の年金関連控除が復元されない中での引き下げは納得しがたいところです。「年金制度の一元化」の問題と「税を財源とする最低補償年金」など、年金制度は慎重に議論し「年金の減額、個人負担増」にならない制度にしたいと考えています。

介護保険は発足以来、10年に二回目の制度の見直しが予定されています。前回の見直しにより、施設給付の減額、介護報酬の改悪により介護サービスが制限され、自己負担の増加に悩む方が増えました、したがって制度改定は施設の充実とそこに働く者の賃金をはじめ処遇の改善を図り。高齢者が安心して暮らせる社会を作っていく制度にしよう。

今後とも、現職労働者と共通課題を共に闘いましょう。

(活動計画)

1. 基本組織の取組みで対応できる行動などに参加する。
2. 状況に応じて「問題別学習会」の開催。
3. 会員(家族など含む)相互の旅行会の開催。
4. 文化活動
 - (1) 将棋、囲碁などの大会(本部主催への参加)
 - (2) レクリエーション(見学、視察など)

- (3) スポーツ親善 (")
- (4) 園芸、植木、盆栽 (")
- (5) ウォーキング(ハイキング、ピクニック)

(その他)

1. 財政問題
東京清掃労組よりの交付金及び会員年会費をあてる。
2. 組織拡大
会員の新規加入を促進します。
3. 東京清掃労組、自治退都本部、都庁退、他支部退との交流に参加。
4. 救済活動の取り組み
火災保険(全労済)、自動車(自治労共済)、安心総合保険(自治退)

(おわりに)

第4回定期総会で活動方針を決定していただき、新たな気持ちで活動を役員一同が一致して進めていきます。

長寿の可能性を視野にいれ生活設計を立て、元気で健全な老後を送りたいと思います。

東京清掃退職者会2011年度会計予算(案)

目) 2011年4月01日
至) 2012年3月31日

区分	会計科目	10決算額	11予算額	説 明
収入	繰越金	604,676	568,559	2010年度会計繰越金
	会費	118,000	120,000	会員一人@2,000円×60人
	交付金	600,000	600,000	東京清掃本部交付金
	雑収入	83,433	11,441	総会祝い金、預金利息、その他(端数調整)
	合 計	1,406,109	1,300,000	
支出	総会費	163,100	120,000	議案書作成、案内状送付、旅費、来賓車代、その他諸費
	会議費	125,900	200,000	幹事会・三役会議・その他清掃退職者会会議の旅費及び諸費
	行動費	136,360	200,000	メーデー・高齢者集会・勧募・その他の行動の旅費及び諸費
	参加費	93,600	150,000	上部団体各種会議・学習交流会等参加費及び旅費
	教宣費	18,800	60,000	学習会費、機関紙発行費、写真代、取材活動費、その他諸費
	交流費	125,680	200,000	清友会旅行(2回考慮)、新春の集い、懇親会経費、ウォーキングその他諸費
	渉外費	53,500	100,000	上部団体交際費、各単会交際費、その他諸費
	事務費	57,010	100,000	通信費、事務用品、その他諸費
	分担金	63,600	80,000	自治退都本部(20,000円+600円×60人)、都庁退10,000円、会員増加分加味
	弔慰費	0	30,000	会員死亡弔慰金、葬儀参列経費、電報代
	予備費	0	60,000	上記科目に属さない経費
	合 計	837,550	1,300,000	

福島原発の事故は「人災」

直ちに原発を廃止し自然エネルギーへ転換を



爆発した福島第一原発3号機

福島第一原発は、3月11日の東日本大震災による事故発生から1月経ったにも関わらず、依然危険水域を脱していません。発生する異常事態への応急措置に迫られまくるモグラ叩きのような状況が続いています。

事故後強調された「千年に一度の巨大地震と津波による想定外の事故」の論がウソであることが明らかになってきました。

M.0を想定した安全対策が浜岡原発で検討されていたこと、明治三陸地震で38mの大津波が襲ったことと平安時代の津波被害の痕跡を基にした地震学者等の提言を無視したこと、安全装置も07年の中越沖地震をきっかけに改善することになっていた

にも関わらずサボっていたことが判明しています。今回の事故は明らかに、東電と原発推進者達による「人災」です。

放出され続ける大量の放射能は「胃のレントゲン並み」とか「自然界にも放射能がある」などと数字のトリックでごまかしきれない事態になっており、今後の推移によってはチェルノブイリを超える被害になることが想定されます。農業・漁業への影響は深刻で、「風評」等と言っ

てはいられない状況です。地震と津波に被災した火力等が復旧すれば、原発なしでも電力は不足しません。「地震列島日本に原発はいらない」の声を大きくしたいと思います。

臨時・非常勤職員の処遇改善と雇用安定を求める署名協力をお願い

地方自治体には約60万人の臨時・非常勤職員が働いており、職員の3分の1を占めています。その多くは「年収200万円未満の「官製ワーキングプア」と言われる状態にあります。休暇制度も整備されておらず、雇用も安定していません。

公務員連絡会は、臨時・非常勤職員の処遇改善と雇用安

定化へ向けて「臨時・非常勤職員の処遇改善、雇用安定に向けた法改正を求める署名」を実施しており、自治退と地公退は、「現・退一致」の立場から、この署名に全面協力することを指示しました。

署名の目標は会員一人5名分です。返信用封筒を郵送しますので、全会員のご協力をお願いします。

退職者会活動日誌

*2月14日の第6回幹事会以降4月1日の第7回幹事会まで

▼2月18日、東京清掃主催の退職者歓送会がSKプラザで開

催され、渡辺会長、戸張副会長、庄司事務局長、小林事務局

次長、戸枝会計、岩淵監査、馬鳥幹事の7名参加。

▼2月23日、都庁退幹事会に庄司事務局長（幹事）が参加。都庁退の当面の活動内容を確認。

▼3月11日の東日本大震災の影響と状況を考慮し、3月17日開催予定の自治退都本部「新しい

高齢者医療制度学習会」、3月25日の東京都中央市場退職者会総会、3月26日の東京清掃ボウリング大会、3月28日の清掃退「お花見ウオーキング」など多くの行事を延期または中止に。

▼4月1日、第8回三役会と第7回幹事会開催。会議の内容は本紙報告の通り。幹事13名全員参加。

▼4月1日、幹事会終了後会計監査。岩淵監査、小泉英監査が点検。指摘事項なしとのこと。

▼事務局会議・事務業務は、2月4回、3月4回。主な課題は、当面の活動計画、お花見ウオーキング関連、総会準備、機関紙発送、新規会員拡大の取組み等でした。